

緑化だより No.218

令和 7年8月号



ムクムクゴケ

- 季節の花(あかね(アカネ))
- 水生昆虫の話(シロタニガワカゲロウ)
- 小さな世界こけ(コケの雄株
セン類の造精器)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

広島県緑化センター

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>



広島県
緑化センター
二次元コード

季節の花

あかね(アカネ)

「あかねさす 日の暮れゆけば すべをなみ

千(ち)たび嘆きて 恋ひつつぞ居(を)る」

作者不詳

万葉集 12 巻-2901

これを訳しますと

(あかね色の日が暮れて行くと 何ともやるせない気持ちになり、

私は幾度もため息をつきながら、あなたのことを恋焦がれて待っています。)

日にかかる枕詞のあかねは太陽の輝きを連想させます。

古くから赤い太陽の輝きに対する信仰を持っていた万葉人は、アカネの根の赤も太陽と同じ呪力をもっていると思っていたのでしょう。

アカネはアカネ科アカネ属のツル性多年草です。

本州・四国・九州に自生し、朝鮮半島・台湾・ヒマラヤ・アフガニスタンに分布しています。丘陵地や林縁、山野に普通に見られますが、探そうとするとなかなか見つかりません。

ツル性といっても巻きつくのではなく、茎がもたれかかります。花は8～10月に淡い黄緑色の花をつけ、草や枝に絡みながら伸びていきます。葉は長さ3～7cmのハート型で先端は細くなって4枚が輪生しているようですが2枚は葉で、もう2枚は托葉です。

11月頃に、直径5～7mmの果実が黒紫色に熟します。

根は赤く、この根から布を赤色に染めるアカネ染めとして、弥生時代の吉野ヶ里遺跡の織物の一部からも出土しています。

江戸時代には、幕府が日本船の旗印として、日の丸にこの草木染の赤色染料を使用しました。又、この根は浄血、解毒、強壯の薬草です。

日本のアカネは栽培しても、赤い根を掘り出すのに大変な労力がいり、染めるのにも手間がかかり、だんだん衰退していましたが、セイヨウアカネは栽培が容易で、今では赤色染料は簡単に入手することができます。(上村)



アカネ



アカネの根

水生昆虫の話

シロタニガワカゲロウ

今年も夏真っ盛り！セミ達が賑やかに合唱する中、暑い日が続いていますが、緑化センターでは、森林のヒンヤリとした空気がとても気持ちの良い季節になりました。この時期になると、多くの種類の水生生物は羽化して空へと羽ばたきます。

夜になると、街頭にたくさんの小さな虫たちが集まりますが、近年、徐々に集まってくる虫の数や種類が少なくなっているように感じます。

そんな街灯に集まってくる虫たちの中でも、小さくて繊細なカゲロウの仲間である日本各地に生息している「シロタニガワカゲロウ」は、カゲロウ目 ヒラタカゲロウ科に属するカゲロウの一種で、比較的流れのゆるやかな平地の河川から湖沼、山地の溪流まで幅広く生息しています。



幼虫の体長は約 15 mm。写真のように黒と薄い黄色のまだら模様で、尾は 3 本。頭の前側に沿って、点々と白い小さな斑紋が 4 つあります。また、腹部には 7 対のふさふさと糸状のエラがあり、体は平たくペタンコで、おもに石の表面を滑るように滑らかに動き回り、石の表面についた付着藻類を食べています。

見た目がヒラタカゲロウ類とよく似ていますが、尾の本数(2 本)とエラの形状が違うので区別することができます。(若干例外もありますが…)

成虫になると白っぽい色になるので、シロタニガワカゲロウという名前になったそうです。

羽化は 4 月下旬～6 月下旬、8 月下旬～10 月下旬の年 2 回で水面に浮上して羽化します。亜成虫の翅はややくすんだ透明色(灰色)ですが、脱皮して成虫になると翅は透明になります。体色は淡い黄色で、尾毛は 2 本、胸部には数個の黒点があり、複眼にある赤褐色の帯模様が特徴です。主に川岸の草むらや林などに生息しているので、そんな場所でじっくり探してみると、きっと見つける事ができるはずです。そして、他にもカゲロウやカワゲラ、トビケラなんかにも出会えるかも！ぜひ、この夏は緑化センターの川沿いの草むらで、カゲロウの成虫探しにチャレンジしてみてはいかがでしょうか。(おっと、マダニには気を付けてくださいね)(西村)

小さな世界 こけ

コケの雄株

セン類の造精器

これまでコケの雌株にできる孢子体について 4 回にわけて紹介しました。雌雄同株のコケは一つの株に造精器と造卵器を作りますが、ほとんどのコケは雌雄異株で、雌株には造卵器、雄株には造精器が作られます。造精器で作られた精子は水の中を泳ぎ雌株の造卵器をめざします。

雌株に届き受精すると、孢子のう(蒴)が作られます。

雄株の造精器も種類により形が異なり、造精器からもある程度コケの種類を知ることができます。今回は造精器をいくつか紹介しましょう。

セン類の多くの造精器は元の葉の形とは異なる雄苞葉ゆうほうようという葉に包まれていて、雄苞葉に包まれた造精器の集まりを雄花盤ゆうかばんといい、肉眼でも確認できるものもあります。

オオトラノオゴケは、春頃、葉の間に作りますが、気をつけて探さないと見つけにくい大きさです。ちなみに、本種の雄苞葉が写真撮影されたのは初めてではないかと思われます。

水がしみ出る斜面や側溝に生育しているコツゲンサワゴケは、秋頃、茎の先端に、細長い雄苞葉に包まれた赤い雄花盤が見られます。このコケも小さいため気がつきにくいですが、ルーペを使って探すと見られます。

コツボゴケなどチョウチンゴケの仲間は、匍匐する茎と直立する茎があり、夏から秋頃、直立する茎の先端に、数枚の雄苞葉に包まれた緑色～褐色の雄花盤をつけ、お花畑のように見えます。

コスギゴケやスギゴケは 5 月頃から茎の先端に星の様な雄花盤をつけます。目立つため、群落は壮観です。(山根)



オオトラノオゴケの
雄苞葉と雄花盤 (4.28.)



コツケンサワゴケの
雄苞葉と雄花盤 (9.13)



コツボゴケの
雄苞葉と雄花盤 (10.3)



スギゴケの
雄苞葉と雄花盤 (5.7)

研修会のご案内

- | | |
|--|---|
| ○ 8月 3日(日)『水生昆虫を探そう』
溪流の水生昆虫を採集して、観察します。
対象は5歳以上小学生以下(小学3年生以下の
児童が複数参加の場合、保護者は2名以上つくこと)
※要予約(締切りました)、無料、雨天中止 | 10:00～12:00 第2駐車場 集合
講師:環境カウンセラー
西村 浩美 |
| ○ 8月 3日(日)『夏休み自由工作塾』
※自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 8月 17日(日)『夏休み自由工作塾』
※自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 8月 24日(日)『夏休み自由工作塾』
※自由参加(随時受付)、材料費1作品100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 8月 31日(日)『はじめての苔テラリウム』
コケテラリウムに挑戦!
※要予約(先着20作品)、材料費1,000円 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:森林インストラクター
長井 稔 |
| ○ 9月 3日(土)『秋の七草と植物観察』
秋の七草について学び、植物を観察します
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 9月 3日(土)『やさしい植物観察入門』
～マメ科植物の特徴と見分け方 その1～
マメ科植物について学びましょう
※自由参加、無料 | 13:30～15:00 学習室 集合
コーディネーター
駄賀 恒男 |
| ○ 9月 5日(金)『薬草講座』
～ニッケイ シナモン 桂枝 八つ橋 あれこれ～
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:広島国際大学生涯学習自然園
前園長・薬学博士
神田 博史 |

♪☆お知らせ・ご案内 ☆♪

8月の土・日・祝日は午後5時まで開園

第9回ひろしま遊学の森

四季の移ろい写真コンテスト

写真募集中 締切り;11月30日(日)

詳細はHP,チラシでご確認ください。

◎展示会

場所: レストハウス (ボード展示)

・広島県愛鳥週間ポスター

入賞作品展 7月23日(水)～8月20日(水)



令和6年度広島県愛鳥週間
入賞作品展より